

2021

山梨県 初期研修プログラム

目次

ページ番号

• 甲府共立病院	1 ～ 2
• 市立甲府病院	3 ～ 4
• 山梨県立中央病院	5 ～ 6
• 山梨赤十字病院	7 ～ 8
• 山梨大学医学部附属病院	9 ～ 10

【甲府共立病院】

1 基本事項

1. 病院長名：小西 利幸
2. プログラム責任者名：志村 直子
3. 問い合わせ先：佐竹 宏治
Tel : 055-226-3131
E-Mail : ishikenshu@yamanashi-min.jp
宛先：〒400-0034 山梨県甲府市宝 1-9-1 甲府共立病院 医局 研修担当宛て
4. 問い合わせ可能日時：月～金…8:50～17:10 土(第4除く)…8:50～13:00
5. プログラム説明会開催日：随時対応

2 プログラム概要

1. 募集人数：【合計 6 名】

一般 (6) 名

甲府共立病院プライマリケア重点プログラム 6 名

2. プログラム協力病院・協力施設

協力型病院：巨摩共立病院/石和共立病院/山梨県立中央病院/山梨大学医学部附属病院/峡西病院/山梨更正病院

協 力 施 設：甲府共立診療所/竜王共立診療所/武川診療所/御坂共立診療所/共立診療所さるはし/山梨市立牧丘病院

山梨県赤十字血液センター/北杜市立甲陽病院/北杜市立塩川病院/飯富病院/南部町国民健康保険診療所

3. 研修プログラム方針：

1 年次は、プログラムの必修科目である、オリエンテーション 4 週、内科 32 週、外科 8～12 週、産婦人科 4～8 週、小児科 4～8 週、救急 4 週(ブロック研修)をローテートします。ローテートする順番はその年の受け入れ人数によって異なります。

救急研修は 12 週が必修です。4 週はブロック研修。8 週間分は 2 年間の日当直研修を行います。

2 年次は、精神科や地域医療、選択科目をローテートします。選択を全て最短でローテートした場合、28 週分が選択研修期間になります。4 週単位でローテートできます。選択研修は上記必修科に加え、山梨県立中央病院 皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科を選択でき、山梨大学では上記にない科をローテートすることができます。

一般外来研修を「小児科」と「地域医療研修」で並行研修にて実施するので、小児科か地域医療研修のどちらかを必ず 8 週を選択しなくてはなりません。

3 研修プログラムの特色



1年目の4月は病院内の様々な職種の体験研修をします。この時期にしか出来ない研修です。他職種の業務理解と顔合わせの意味合いも込めて行っています。他職種と仲良くなると仕事もやりやすいです！

総合診療研修中に毎朝行っているチャートカンファレンスです。受け持っている患者さんの治療に関して考えている方針をショートプレゼンし、上級医・指導医から意見をもらい、1日の方針を決定します。屋根瓦式の指導体制なので、研修医をバックアップする体制ができています。



1年目から腹部エコー研修を必修にしています。検査技師さんが丁寧に教えてくれます。選択で内視鏡研修をすることも出来ます。研修医同士「飲み会」を行って、進捗度を確かめます。

2年間を通じて当直研修を行っています。

見学→副当直開始→指導医 2 診待機→指導医医局待機→正当直独り立ちと、ステップアップ方式で体系的に行っています。副当直後に指導医に記載してもらう評価表を研修委員会で評価し、個々の進捗度でステップアップを判定しています。



週に1回、総合診療病棟で新入院患者さんの治療方針を病棟全体で多職種カンファレンスを行っています。医師のみでなく、看護師・薬剤師・セラピスト・管理栄養士・MSWなど多方面からの意見を活かすためのカンファレンスです。病院全体 360°医師をサポートします。

研修のフィールドは病院だけではありません。夏祭りに出向き、地域の方の健康相談をしたり、お祭りでカフェをやりつつ地域の方々と交流する機会を持つなど、病院と地域との繋がりを大切にしています。



研修医ブログ「頑張れ研修医」みてください！

【市立甲府病院】

1 基本事項

1. 病院長名：青山 香喜
2. プログラム責任者名：診療部長 沢登 貴雄
3. 問い合わせ先：沢登 貴雄
Tel : 055-244-1111 E-Mail : byoinssm@city.kofu.lg.jp
4. 問い合わせ可能日時：月～金 8:30～17:15（祝日除く）

2 プログラム概要

1. 募集人数：6名
2. 地域医療連携病院：山梨大学医学部附属病院、住吉病院、うえむらクリニック、境川診療所、山梨県厚生連健康管理センター、おさだ内科クリニック、清水医院、長田在宅クリニック、市川メディカルクリニック、甲府市保健所
3. 研修プログラム決定方針
 - 1) 「必修科目」については、研修1年目は、内科（24週以上）、救急（12週以上）とし、研修2年目は、地域医療（4週以上）とする。また、研修1年目又は2年目に、外科（4週以上）、小児科（4週以上）、産婦人科（4週以上）、精神科（4週以上、協力病院で研修）、一般外来（4週以上、地域医療で研修）、訪問診療（地域医療で研修）の研修を行う。なお、麻酔科における研修期間は、4週を上限として救急の研修期間とすることができる。
 - 2) 「選択科目」は内科、外科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、神経内科、眼科、皮膚科、放射線科、耳鼻咽喉科、麻酔科、泌尿器科、形成外科、精神科、病理科、地域医療、保健・医療行政の18診療科の中から数科目をそれぞれ最低4週以上自由選択する。地域医療、保健・医療行政以外の科目については、市立甲府病院、山梨大学医学部附属病院、住吉病院（精神科のみ）にて実施する。

・年間スケジュール例

1 年次	内科 24週	救急 12週	必修科目又は選択科目 16週
2 年次	地域医療 4週	必修科目又は選択科目 48週	

・週間スケジュール例

呼吸器内科の例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	病 棟	病 棟	病 棟	気管支鏡検査	病 棟	休 み
午後	病棟または 睡眠時無呼吸外来	化学療法外来	化学療法外来	病 棟	病 棟	休 み

外科の例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	病棟・手術	病棟・手術検査	病棟・手術	病棟・手術検査	病棟・手術	休 み
午後	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術	休 み

3 研修プログラムの特色

1. 基幹施設である市立甲府病院は、山梨県中北医療圏内の中心的な急性疾患病院であるとともに、地域の病病・病診連携の中核である。また、地域に根ざす第一線の病院でもあり、common disease の経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院、診療所との連携も経験できる。
2. ほとんどの診療科を備えており、研修内容も研修医の希望に沿った内容にしていることから、幅広い診療科のなかから、比較的自由的な研修計画を立てることができる。
3. 救急当直においては、各診療科の上級医とマンツーマン形式で取り組むため、同一の疾患に対しても、様々な診療方法・治療方法を学び、幅広い知識・経験を獲得できる。

【山梨県立中央病院】

1 基本事項

1. 病院長名：平賀 幸弘
2. プログラム責任者名：飯室 勇二（総合研修）星合 美奈子（小児科重点）内田 雄三（産科重点）
3. 問い合わせ先：石川 知（総務課 庶務担当）
Tel：055-253-7111（内：2024）
E-Mail：chubyo@ych.pref.yamanashi.jp
4. 問い合わせ可能日時：月～金 8：30～17：15（祝日除く）メールは随時受付。
5. プログラム説明会開催日：未定

2 プログラム概要

1. 募集人数：【合計 25 名】

総合研修プログラム （21）名 ※自治医科大出身者含む

小児科重点プログラム （2）名 産科重点プログラム （2）名

2. プログラム協力病院・協力施設：

地域医療…都留市立病院、大月市立中央病院、上野原市立病院、牧丘病院、飯富病院、塩川病院、
甲陽病院、市川三郷病院、富士川病院

リハビリテーション科…石和共立病院 精神科…県立北病院 神経内科…山梨大学
予防医学…厚生連健康管理センター 保健医療行政…甲府市保健所 小児科…山梨大学

3. 研修プログラム決定方針：

【総合研修プログラム 21名（自治医科大出身者含む）】

	1週 ～ 4週	5週 ～ 8週	9週 ～ 12週	13週 ～ 16週	17週 ～ 20週	21週 ～ 24週	25週 ～ 28週	29週 ～ 32週	33週 ～ 36週	37週 ～ 40週	41週 ～ 44週	45週 ～ 48週	49週 ～ 52週
1 年 次	選 択 科	内 科 1		内 科 2		内 科 3		救 急 科		麻 酔 科	外 科	小 児 科	産 婦 人 科
2 年 次	精 神 科	選 択 科	地 域 医 療	選 択 科									

○ 基本的な考え方

- ・ 自由度が非常に高く、様々なニーズに対応できます。
- ・ 2年次の8週目までに必修科目を研修して基礎を固め、2年次の9週目からは自由度の高い研修プログラムを自分で組み立てることが出来ます。

○ 必修科目について

- ・内科研修では、内科詳細科の5つ（「循環器・糖尿病内分泌」、「呼吸器」、「消化器」、「腎臓・リウマチ・膠原病」、「総合診療・感染症」）のうちから3つを選択し、それぞれを8週研修します。
※一部ご希望に添えない場合もあり。
- ・救急科研修では、高度救命救急センターにて三次救急を8週間研修します。
シフト制ですので、無理なく研修することが可能です。
- ・2020年度からの臨床研修制度見直しに伴い、「外科」、「小児科」、「産婦人科」、「精神科」を4週間ずつ研修します。「精神科」のみ精神科専門病院である県立北病院での研修を原則とします。
- ・麻酔科研修は、4週間の必須とします。救急科と連続して研修することにより、気管挿管等の知識・技術をマスターできます。
- ・地域医療研修は4週間の必修とし、9の地域医療拠点病院から選択します。
※2年次の9週目以降の研修となります。
- ・一般外来研修は、2年次に院内で一般外来の指導医の下での継続診察および、院外で主に地域医療研修中に並行研修します。院内での一般外来研修では指導医からフィードバックがしっかり受けられますので、外来診療の技術を身につけることが可能です。※トライアル中ですので変更の可能性有。

○ 選択診療科について

- ・104週（2年間）のうち、48週間を自由に選択できます。（但し、4週ごとの研修を原則とします。）
- ・裏表紙の診療科（神経内科を除く）は山梨県立中央病院で研修します。
- ・神経内科、保健・医療行政、リハビリテーション、予防医学、精神科は他施設で研修します。
- ・選択科としての内科研修は、病棟ごとの研修、詳細科ごとの研修のどちらでも選べます。

【小児科重点プログラム 2名】

	1週 ～ 4週	5週 ～ 8週	9週 ～ 12週	13週 ～ 16週	17週 ～ 20週	21週 ～ 24週	25週 ～ 28週	29週 ～ 32週	33週 ～ 36週	37週 ～ 40週	41週 ～ 44週	45週 ～ 48週	49週 ～ 52週
1 年 次	選 択 科	内 科 1	内 科 2	内 科 3	救 急 科	麻 酔 科	外 科	産 婦 人 科	精 神 科				
2 年 次	小 児 科	選 択 科	地 域 医 療	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科

- ・小児科を重点的に研修できるプログラムです。小児科・小児外科・新生児内科を優先的に研修できます。
- ・小児科重点プログラムのみ、山梨大学小児科で研修が可能です。
- ・皮膚科などの他科での小児科症例についても研修できます。

【産科重点プログラム 2名】

	1週 ～ 4週	5週 ～ 8週	9週 ～ 12週	13週 ～ 16週	17週 ～ 20週	21週 ～ 24週	25週 ～ 28週	29週 ～ 32週	33週 ～ 36週	37週 ～ 40週	41週 ～ 44週	45週 ～ 48週	49週 ～ 52週
1 年 次	選 択 科	内 科 1	内 科 2	内 科 3	救 急 科	麻 酔 科	外 科	小 児 科	精 神 科				
2 年 次	産 婦 人 科	選 択 科	地 域 医 療	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科	選 択 科

- ・産婦人科を重点的に研修できるプログラムです。産科・婦人科を優先的に研修できます。

【山梨赤十字病院】

1 基本事項

1. 病院長名：今野 述
2. プログラム責任者名：今野 述
3. 問い合わせ先：総務課 大石 憲右
Tel : 0555-72-2222 E-Mail : soumuka@yamanashi-med.jrc.or.jp
4. 問い合わせ可能日時：月～金 8:30～17:00（祝日除く）
5. プログラム説明会開催日：なし

2 プログラム概要

1. 募集人数：2 名
2. プログラム協力病院・協力施設：
プログラム協力病院…昭和大学病院、山梨大学病院、山梨県立中央病院、富士吉田市立病院
都留市立都留市立病院、大月市立中央病院、上野原市立病院、回生堂
病院、昭和大学烏山病院
協 力 施 設…山梨県立富士ふれあいセンター、身体障害者療護施設はまなし寮、
富士・東部保健所
3. 研修プログラム決定方針：研修開始前に2年間の研修プログラムとローテーションをあらかじめ決定します。
その場合のローテーションの順番や希望研修病院・希望研修科については、
研修医の希望に沿って研修管理委員会が調整します。

3 研修プログラムの特色

本プログラムでは、社会的に強く要望されているプライマリ・ケアの基本的能力の充実の為、山梨赤十字病院の医師が一丸となり臨床研修を実施します。一年次には必修科目である内科を28週、救急研修を12週行い、残りの12週は外科、精神科など選択必修科目を研修します。2年次には必修科目の地域医療研修を4週、産婦人科、小児科などの選択必修科目を16週、残りの32週は、研修医の協力病院での研修を含む自由選択とすることにより幅広い多様な研修を可能にしています。

【山梨大学医学部附属病院】



1 基本事項

1. 病院長名：武田 正之
2. プログラム責任者名：板倉 淳（臨床研修センター長）
3. 問い合わせ先：
板倉 淳（臨床研修センター長） Tel：055-273-8296
臨床教育支援室 乙黒、武井 Tel：055-273-8296 E-Mail：kennbo@yamanashi.ac.jp
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 山梨大学医学域総務課 臨床教育支援室
4. 問い合わせ可能日時：月～金 8：30～17：00（祝日除く）
5. プログラム説明会開催日：未定

2 プログラム概要

1. 募集人数：【44名】
一般プログラム……………（24）名
研究医育成プログラム……（3）名
たすき掛けプログラム……………（13）名
キャリアプログラム
産婦人科重点プログラム…（2）名
小児科重点プログラム……（2）名
2. プログラム協力病院・協力施設：冊子「山梨大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム」参照
3. 研修プログラム決定方針：本プログラムの目的は、卒後臨床研修を通じて一次医療・二次医療・三次医療と多様化を続ける医療に対応できる人材と国際競争力のある研修医の育成を行うことにある。具体的には、経験と教育手法を備えた指導医の下で、医師としての人格と見識を磨く。さらに、将来の専門科にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する common disease に適切に対応できるよう、基本的総合診療能力(態度、技能、知識)を身につけることを目的とする。優れた研究能力を有する人材の育成とキャリア支援を行い、また新専門医制度における確実な専門医取得に向けた支援を行うことも目的とする。

3 研修プログラムの特色

自由度の高いプログラム

考える救急医療

新専門医制度に対応したプログラム

地域医療と総合診療（ER 研修）

一般

（定員：24名）

山梨大学医学部附属病院（以下、大学病院）において1年目の研修を行い、2年目も引き続き大学病院で研修を行う

内科 24週	救急 12週	麻酔科	外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科目 44週
	ICU (集中治療室)	4週	4週	4週	4週	4週	4週	
	ER (救命救急室)							
	OR (手術室)							

必須（コア）

※一般外来4週以上を含む

研究医育成

（定員：3名）

大学病院において臨床研修を行いながら大学院を履修し、自由選択期間中に臨床研修に支障がない範囲で、（土・日）休日、夜間を利用して研究を行うことができる基礎医学系講座での研究も可能

内科 24週	救急 12週	麻酔科	外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科目 44週 (基礎医学系講座で研究可能)
	ICU (集中治療室)	4週	4週	4週	4週	4週	4週	
	ER (救命救急室)							
	OR (手術室)							

必須（コア）

※一般外来4週以上を含む

たすき掛け

（定員：13名）

2年間の研修期間中、1年間は協力病院で研修する

研修期間は、本人の希望と協力病院の受け入れ状況により、決定する

各病院の研修カリキュラムを基盤に、下記履修要件を考慮してカリキュラムを個々に決定する

たすき掛け病院（52週） コア科目の履修も可能		大学病院（52週） たすき掛け病院で未履修のコア科目を履修	
大学病院（26週）	たすき掛け病院（52週） コア科目の履修も可能	大学病院（26週）	たすき掛け病院で未履修のコア科目を履修
大学病院（52週）		たすき掛け病院（52週） コア科目の履修も可能	

キャリア

（定員：各2名）

大学病院において2年間研修を行い、コア科目として産婦人科ないし小児科での研修を8週行う

8週	内科 24週	救急 12週	麻酔科	外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科目 40週
		ICU (集中治療室)	4週	4週	4週	4週	4週	4週	
		ER (救命救急室)							
		OR (手術室)							

必須（コア）

※一般外来4週以上を含む



の期間は、産婦人科重点の場合、産婦人科8週・小児科4週、
小児科重点の場合、小児科8週・産婦人科4週となる